

No.166

# さい議会だより



ここ！こっちにも！しおかぜ商店街が笑顔で賑わった「もちまき」

(7月17日しおかぜみなとパーク)

6月定例会

消防車両2台購入予算を可決 … 3 ページ

一般質問3名登壇 … 4~9 ページ

議員定数を議論 … 12 ページ

平成26年第2回定例会は、6月16日から18日までの3日間の会期で行われました。

村長から、報告1件、補正予算案5件、人事案1件、その他2件の計9件が提出され、それぞれ全会一致で原案どおり決しました。



### 審議した主な議案

#### ○平成二十五年度佐井村一般会計繰越明許費 繰越計算書

平成二十五年度一般会計予算に計上の次の二事業について、年度内に事業を終えることが見込めないため、繰越明許費として報告する。

・地域情報通信事業（光ケーブル移設工事事業）  
〔五十一万三千円〕

業  
・子ども・子育て支援制度電子システム構築等事業  
〔五百七十七万五千円〕

### 人権擁護委員の

#### 主な相談の内容

- ・遺産相続、遺言、土地境界のトラブル
- ・土地や建物の登記に関すること
- ・家庭内でのいざこざ
- ・職場でのセクハラ
- ・学校でのいじめ
- ・サラ金問題
- ・借地、借家に関する問題など



佐々木 寛昭さん  
(古佐井)

### 人権擁護委員の候補者 佐々木 寛昭さん

#### 推薦に同意

平成二十六年九月三十日付けで、人権擁護委員の佐々木寛昭さんの三年間の任期が満了するため、引き続き人権擁護委員の候補者として同氏を推薦することに全会一致で同意しました。

# 一般会計補正予算 消防車両2台購入に 1億2千6百万円

一般会計			
	補 正 前	補 正 額	計
	23億196万円	1億4,792万円	24億4,988万円
<b>補正の主な内容</b>			
<p>■原子力発電施設環境対策費 ······ 174万円            佐賀県武雄市、玄海原子力発電所などへの視察研修費</p> <p>■災害対策費 ······ 97万円            消防団員用の雨衣購入費</p> <p>■消防施設費 ······ 7,872万円            •老朽化した水槽付消防ポンプ自動車購入費 ······ 7,872万円            •高規格救急自動車購入費 ······ 4,749万円</p> <p>■老人福祉費 ······ 67万円            高齢者生活福祉センターの誘導灯及び消火器の交換に要する経費</p> <p>■文化財保護費 ······ 180万円            古佐井共済会山車の一部修理、内幕の取り替え、神楽衣装の購入</p> <p>■道路費 ······ 1,436万円            佐井村道路ストック総合点検に要する経費</p> <p>※道路ストックとは…道路の長寿命化のための維持管理、整備等総点検を図ること</p>			

特別会計			
会 計	補 正 前	補 正 額	計
簡 易 水 道	7,296万円	41万円	7,337万円
下 水 道	1億8,864万円	△239万円	1億8,625万円
国民健康保険	4億5,577万円	18万円	4億5,595万円
介 護 保 険	3億2,096万円	94万円	3億2,190万円

※万円以下切捨て



田中岩男議員

**漁業・農業・雇用・嫁不足**

# 村の経済対策に向けどう取り組む

村長－地元に就労の場を確保するため、企業を誘致する

アワビ養殖  
できないか

水産振興基金  
活用してはどうか

産業の誘致促進を  
進めたい

定住対策をするためには、  
地元に就労の場がなければ  
ならない。

田中議員  
佐井村の基幹産業である漁業や農業は、今後どのような方向性をもつて活性化を進めるのか。

これまでの事業の  
検証をする

田中議員  
今までどおりの漁業振興策では、自然を相手にする漁師の生活は増え厳しい状況になる。アワビの自然放流よりも、資金はかかるが、各地区・団体等で陸上でのアワビ養殖事業ができないか。

田中議員  
アワビ養殖を、水産振興基金を活用した事業の一つと考えてみてはどうか。

田中議員  
環境配慮型の産業や、原発関連産業の誘致促進を進めたい。

今後、企業誘致に向け行動していく。

現状のままでよい

基金の取り崩しは  
考えていない

田中議員  
漁協は、今後加工場の衛生面に配慮した改修など、多大な資金が見込まれる。水産振興基金の取り崩しは、考えていない。

田中議員  
嫁対策に安定した職場の確保が必要

田中議員  
大手企業を誘致し、安定した職場を確保することで、嫁対策にもつながると考えるが。

雇用対策は

田中議員  
若者に対する雇用対策は、どのように進めるか。

田中議員  
今後、企業誘致に向け行動する

田中議員  
農業については、今まで取り組んできた「佐井村水産振興計画」の事業等の検証を行い、行政がバックアップしなければならないことは積極的に行いたい。

田中議員  
中間育成施設を各地区に造るとなれば、相当な維持運営費がかかるため、アワビの養殖については、現状のままでよいと考える。

田中議員  
すべてに関連がある。



2年目アワビの稚貝（佐井漁協アワビ幼稚仔育成施設）

6月定例会

# 津波対策のための 道路整備に積極的な対策を

村長 一 一步踏み込んだ訓練で、災害に備える

田中議員

海岸線を通る国道三三八号は、村の主たる生活道路だと思っている。海面から二メートルから五メートルの高さしかない道路が多くあるが、津波対策はどうするのか。

代替道路の建設が必要ではないか。代替道路の建設が必要ではないか。

**場所的な問題がある**

**護岸の嵩上げの計画はあるか**

災害の想定は非常に難しい。代替道路建設についても、場所的な問題がある。

田中議員

津波対策としての護岸の嵩上げの計画はあるか。

**県に対しても要望していない**

**避難時大混乱が予想される**

避難対策に万全を期したい。

**計画はない**

避難道路に関しては、村内の地区及び町内会から要望がなかつたこともあり、県に対して特段要望はしていない。

田中議員

高齢者もいれば障がい者もいる。現在の道路のまでは、車も大混乱が予想されるし、冬の雪道の問題もあるのでは。

**災害に強い対策とするべき**

避難対策に万全を期したい。

**代替道路が必要**

**訓練で災害に備える**

行政が率先して、住民の意見を取り入れて、災害に強い対策をとるべきと思うが。

田中議員

国・県も国道三三八号については、避難道路の整備は全く触れていない。

**災害の規模は想定できない**

護岸の嵩上げなどは、相当な経費を要するし、災害の規模も予想できな

津波が来た場合、代替道路あがれば、スムーズに住民が避難できると思うが。道路の整備は全く触れていない。毎年実施している防災訓練をして、マニュアル的に行うのではなく、実際の災害を想定した一步踏み込んだ訓練をして、本当に災害に備えることしか今の段階ではできない。

津波が来た場合、代替道路あがれば、スムーズに住民が避難できると思うが。道路の整備は全く触れていない。毎年実施している防災訓練をして、マニュアル的に行うのではなく、実際の災害を想定した一步踏み込んだ訓練をして、本当に災害に備えることしか今の段階ではできない。

田中議員

護岸の嵩上げなどは、相当な経費を要するし、災害の規模も予想できな



海岸線を通り、海面からの高さも低い箇所が多い国道338号



川岸一彦議員



三上剛太郎氏を物語にしたビデオと本

東出元村長が二期目の時に、「赤十字の旗ひるがえる里佐井村」として、様々な事業を開拓し、現在も継承している。村長は、赤十字事業の今後をどのように考えているか。

これまで、東出元村長のときに、三上剛太郎先生の物語を出版し、また平成九年三月に開催した「赤十字の里づくり推進大会」を契機に、赤十字の里の浸透を図り、普及推進を行ってきた。更に、その精神は太田前村長に引き継がれ、三上家の保存を事業化し、現在佐井村の観光名所となっている。

今後の展開については、観光客をはじめ、来村者に目からアピールできるよう、役場や三上家の他の旗を掲げて、佐井村と言えば赤十字と言われる様な活動をしていきたい。

川岸議員

東出元村長が二期目の時に、「赤十字の旗ひるがえる里佐井村」として、様々な事業を開拓し、現在も継承している。村長は、赤十字事業の今後をどのように考えているか。

村長

「目からアピールする

ビデオのDVD化  
検討して欲しい

川岸議員

これまで、東出元村長のときに、三上剛太郎先生の物語を出版し、また平成九年三月に開催した「赤十字の里づくり推進大会」を契機に、赤十字の里の浸透を図り、普及推進を行ってきた。更に、その精神は太田前村長に引き継がれ、三上家の保存を事業化し、現在佐井村の観光名所となっている。

今後の展開については、観光客をはじめ、来村者に目からアピールできるよう、役場や三上家の他の旗を掲げて、佐井村と言えば赤十字と言われる様な活動をしていきたい。

# 赤十字精神は村民の心の支え どのように継承していくのか 村長 佐井村と言えば赤十字と言われる活動



平成17年に改修保存し、公開された「三上剛太郎生家」

# 公約一 佐井村を元氣にするために 役場職員の意識改革とは 村長一 接遇マナーを学び、職員個々のスキルアップを図る

これまでに村民から寄せられた声には、窓口でのあいさつや電話対応、服装に対する指摘があつた。そのため、職員の意識改革の第一歩として、接遇マナー研修を実施し、職員四十八名がマナーを学んだ。

また、全職員が共通の認識で対処する必要があるため、庁議において、地域からの要望等に関する課題について協議していくこととした。更には、主幹以上の職員に本会議の傍聴を働きかけ、個々のスキルアップを図る。

村民から職員に對する指摘があつた

村長の政策の中に、「佐井村を元気にするため、職員の意識改革から始めることか。」とあるが、どういうことか。

## 川岸議員 村長の

## 各課長の考え方はどうか

村長の思いは理解した。そこで、各課長に職員の意識改革についての自分の考えを伺いたい。

村民あつての  
職員である

## 參事・総務課長

せられた声には、窓口でのあいさつや電話対応、服装に対する指摘があつた。そのため、職員の意識改革の第一歩として、接遇マナー研修を実施し、職員四十八名がマナーを学んだ。

また、全職員が共通の認識で対処する必要があ

また、全職員が共通の認識で対処する必要があるため、 庁議において、 地域からの要望等に関する課題について協議していくこととした。更には主幹以上の職員に本会議

主幹以上の職員に本会議の傍聴を働きかけ、個々のスキルアップを図る。

## 産業建設課長

現状確認、迅速  
答、直ちに実行

**各課長の考え方ほど**

**川岸議員**

村長の思いは理解した。  
そこで、各課長に職員の意識改革についての自分の考えを伺いたい。

**村民あつての職員である**

全職員に対して、清潔感を持つた服装、駆け込み登庁はしない、住民目線で業務に取り組むこと、更に役場職員は村民あつての職員という事を念頭に、日々の業務を遂行しなければならないと、訓示している。

**総務課においては、共通した認識が必要であり、職員との日々の会話を大事に、個々のスキルアツプに繋げたい。**

**参事・総務課長**

全職員に対して、清潔感を持つた服装、駆け込み登庁はしない、住民目線で業務に取り組むこと、更に役場職員は村民あつての職員という事を念頭に、日々の業務を遂行しなければならないと、訓示している。

**自ら率先してあいさつする**

住民福祉課長

自分自身の意識改革から始め、自ら率先してあいさつで職場内、更には住民とのコミュニケーションを円滑にしていきた。また、部門間で情報や課題を出し合い、共通認識を持つよう心がけた

を考えている。課内会議で情報交換を行い、常に助け合いの気持ちを持つて、それを行動として表せる職場環境にすることが、職員の意識改革に繋がると思う。

住民に理解され、  
頼られる職員に

課長自らが意識改革をすることと、職員全体がその方向に向かっていくと考える。



青森銀行研修所長 佐藤 啓一講師による接遇マナー研修



山口捷夫議員

山口議員

赤十字の里事業は、二十数年継続しているが、村長の公約の中で、赤十字の里事業について触れていない

ので、今後継続していく意

思はあるか。また、最近の赤十字の里事業は進展していないよう見受けられるが、これからこの事業をどう進めていくのか。

**赤十字精神の浸透  
が重要**

村長

今後の事業の展開については、三上家や資料の展示なども大事ではあるが、地域住民がその精神を心に抱き、ともに助け合いの心で活動することが、非常に重要なと考える。三上剛太郎先生から学ぶ思いやりの心とお互いに助け合う心、その赤十字精神をいかに村民に

赤十字の里事業は、二十数年継続しているが、村長の公約の中で、赤十字の里事業について触れていない

**「標柱」を建てて  
はどうか**

村長

大変すばらしい案だと思

うので、早速取りかかりた  
い。更に、明治二年生まれの三上剛太郎先生の「生誕祭」を企画したいと考

山口議員  
もし、資料館などを建て  
る企画があつたら、能登屋

**能登屋家の柱や梁  
を活用しては**

山口議員  
もし、資料館などを建て  
る企画があつたら、能登屋

村内の小・中学校の生徒や住民から、三上剛太郎先生の仁愛の精神に関する標語などを募集して、「標柱」を建ててはどうか。それを各町内、各地区、アルサス周辺などに建て、村民及び観光客など多くの人の目に触れさせることにより、赤十字精神の理解を深めることができるのではないか。

**「生誕祭」を企画  
し、組み入れる**

村長

今後の事業の展開については、三上家や資料の展示なども大事ではあるが、地域住民がその精神を心に抱き、ともに助け合いの心で活動することが、非常に重要なと考える。三上剛太郎先生から学ぶ思いやりの心とお互いに助け合う心、その赤十字精神をいかに村民に

**日赤青森県支部の  
協力を仰ぎたい**

村長

私もそのような考え方を持つているので、日本赤十字社青森県支部の協力を仰ぎ、進めていきたい。

**山口議員**  
「標柱」を建てて  
はどうか

**資料館や研修所の  
建設設計画は**

山口議員

赤十字の組織は全世界にあるので、各国々の赤十字活動の資料を収集し、資料館や研修所などをつくる考えはあるか。

**後世に残す形で  
役立てたい**

村長

今のところは、はつきり答弁できないが、古い梁などを使って、何かしら後世に残すような形で、役立てていきたいと考えている。

に浸透させるかが、大きく目指すところと考える。

ていたので、標語、標柱をそれに組み入れて、取り組んで行きたい。

ていていると思うので、資料館の展示物として活用してはどうか。

# 三上剛太郎先生の仁愛の精神をまちなかに 標語を募り標柱を建ててはどうか 村長——「生誕祭」を企画したい



三上剛太郎生家の展示品の様子

6月定例会

# 観光振興のための アルサス「道の駅」で通年観光を 村長 一 現在のままで十分である

**山口議員**

アルサスが建設されてから、二十五年が経過したが、観光の拠点として、また地域の中心的な建物として、アルサスが果たしてきた役割は大きなものがある。その中の海峡ミュージアムについては、近年展示物も少なく、また展示物の入れ替え等も行われていないよう見受けられる。今後どのような活用策を考えているか。

**山口議員**

北前船の資料を  
展示したい  
冬期間も通年営業  
できないか

**村長**  
北前船の資料を  
展示したい

今後は、北前船の資料展示等を考えているので、海峡ミュージアムの運営委員会があるので、協議したい。

人会の会合に参加した際、冬の間休業しているテナントについて、通年営業できないかと質問された。テナントと村とは契約内容について、一度も話し合いがされていない。このことについて、テナントと話し合いを持つ考えがあるか。

**現状のままでよい  
と考える**

**村長**

関係機関と協議の  
場を設ける

**村長**

道の駅を申請するとなれば、様々な条件をクリアしなければならない。更に二十五年経過したアルサスの改修も手掛けなければならぬため、現状のままでいとを考えている。

**山口議員**

アルサスを道の駅  
にする考えは

アルサスを核とした周辺に、にぎわいを創出したいという考えを持っている。そのためには、テナント、観光協会、商工会、アルサス活性化協議会これらすべての方々と、じつくりと話し合える機会を設けたいと思う。

北前船に関する資料等収集し、佐井村の歴史と文化である北前船をピアーラルすることが、昨年の北前船事業に繋がると思う。また、昨年の東京佐井村



北前船資料の展示を予定



観光シーズンは観光客などで賑わうアルサス内だが…

◆追跡質問で、過去に質問した件はその後どうなったのか経過を問います。

高齢者見守り事業の経過は（25年9月質問）

# 高齢者の孤独死対策

川岸議員

高齢者の孤独死対策について質問したが、保健師、地域担当職員、協力事業者による見守り事業のその後の経過は。

30事業所と協定を締結した

- ※協力事業所
- 佐井郵便局
- (株)川岸商店
- (有)東出水道設備
- 布施商店
- (有)佐井石油
- 竹内でんき
- 新屋おおぎや
- 東北電力(株)むつ
- ヤマト運輸むつ支店
- 仏ヶ浦運送
- 青森ヤクルト販売(株)
- むつ営業所
- 社会福祉協議会
- ゆうなぎの里
- 倉石ハーネス(株)
- 佐井村老人クラブ
- 佐井村民生委員児童委員協議会
- 町内会、地区会(十  
三団体)
- 生活協同組合コープあおもり

村長 「佐井村高齢者等見守り事業ネットワーク事業実施要項」を定め、事業の十一月下旬から実施している。村内外の※三十事業所と、見守りに関する協定を締結し、万全な体制がしかれたと思つてゐる。

公務の一部として  
月1回の見守り

住民福祉課長 地域担当職員については、公務の一部として、担当地域を月一回程度のローテーションで見守りを実施している。三名の保健師は、そ

れぞれ情報等により、定期的に見守りを実施したり、高齢者だけでなく、全村民の福祉健康づくりのため、業務の中でも日々見守りを実施している。

川岸議員

能登屋家の保存活用について質問し、太田前村長は改修し保存に前向きな答弁だったが、樋口村長はどのような考え方か。

保存活用は  
断念した

村長 四百年前の家屋や庭などを改修し、復旧させることは多額の資金が必要になるし、維持管理も大変だろうという事から断念することに決した。

現村長の考えは（25年9月質問）

# 能登屋家の保存



改修・保存、維持管理に多額の資金が見込まれる能登屋家

## 6月定例会

見直し改善されたか（25年12月質問）

# ふるさと納税制度

川岸議員

ふるさと納税者へ特  
産品の贈呈と、村のホ  
ームページでふるさと  
納税制度が目につくよ  
うに、改められないか  
と質問したが、どうな  
つたか。

川岸議員

ホームページを確認  
したが、贈呈する特產  
品を活字だけでなく、  
写真を載せることで、  
更にわかりやすくなる  
と思うので、検討して  
欲しい。

佐井村ホームページ「ふるさと佐井村応援基金」掲載文  
1万円以上5万円未満·····3,000円相当の品物  
→塩うに+しょう油いくらセット（各1本）、またはヒバ  
製品セットなど  
5万円以上10万円未満·····5,000円相当の品物  
→塩うに（2本）+しょう油いくら（1本）セット、または  
ヒバ製品セットなど  
10万円以上·····10,000円相当の品物  
→活あわび（1kg）、またはヒバ製品セットなど

## 「ぽぽらす」のバリアフリー化

# 再三にわたって質問している

竹内修議員

今年度当初予算には  
公的施設のバリアフリ  
ー化に対して、予算計  
上されていない。これ  
まで再三「ぽぽらす」  
前の門から、玄関まで  
のバリアフリー化につ  
いて、質問してきたが、  
どのようになっている  
のか。

認識はしているが  
時間を頂きたい

村長

雨降りともなると、  
すごくかるることは  
認識しており、就任時  
に受けた総務課からの  
課題等の中にもその点  
が入っていたので、今  
少し時間を頂きたい。  
今

農業研修センター  
は解体の検討必要

村長

現在、農業研修セン  
ターは、老人クラブの  
人達が利用している。  
老朽化が進んで行けば、  
管理上においても大変  
なので、農業研修セン  
ターについては、今後  
解体も含めた検討も必  
要であり、「ぽぽらす」  
への集約も考えている。

施設の利用を明確  
にしては

竹内修議員

財政が厳しい中で、  
公的施設の維持管理も  
大変な時期に入ってきた  
「ぽぽらす」近くには、類似した施設の「農  
業研修センター」があり、地域の人や利用す  
る人達から聞き取りを明確にしたらどうか。

# 議会改革特別委員会委員長報告 議員定数は現状維持賛成多数

議員の任期もあと1年と迫るなか、3月定例会中の3月11日および6月定例会中の6月17日に議会に設置されている、議会改革特別委員会において、議員定数について議論しました。

## ◆議員定数とは◆

地方議会の議員定数は、各市町村の条例で定めることになっています。

2011年の地方自治法の改正により、上限数を人口に定める規定は廃止。佐井村議会の定数は、平成19年の改選時から8人となっています。

来年四月は、統一地方選挙の年であり、佐井村でも、村議会議員選挙が執行されます。選挙を一年後に控え、村議員の定数について現状維持か、あるいは定数を削減するのか、議論を重ねてきました。

現状維持の主な意見は、若い人たちが議員になるためには、議員がこれ以上減ることに反対だ、若い人が議員になつても生活できるような報酬が望ましい。自営業だけでなく、会社員なども議員になつてほしい。また、現在の定数八人でより一層、住民を議会活動に巻き込んでいく、議会に関心を向けさせていく活動を積極的に行うべきだ。定数削減は、人口が二千人を割った時に考えるべき。などの意見がありました。

一方、定数削減の意見としては、村では毎年五十人弱の村民が亡くなり、人口が急速に

員自らも身を切る必要があり、一人の定数削減を提案したい。また、村は地区が点在し、地域性を考えればどうかと思うが、人口減少を減を提案したい。

考えたとき、議員数削減案を述べました。議会では、意見集約したところ現状維持賛成が五名、削減賛成が二名で、議員定数は現状維持に決定しました。（委員長は委員会条例により、表決に加わることはできない。）

特別委員会では、ほかの意見として、村を発展させていくために取り入れていくことは、若い人たちの意見が大事だ。そのためには、議員枠を広げて興味を持つてもらいたい。そくしてもらいたい。そくしていく、などもありま

佐井村は、人口減に伴う過疎化が急速に進み、景気の低迷や漁業の不振など厳しい現実に迫られており、議会が村民の代表機関として、村民福祉向上のために果たすべき役割はますます大きくなっています。

第2回臨時会（7月16日）

# 消防車両等の契約の締結を可決

## 【可決した議案】

### ○財産の取得について（高規格救急自動車）

指名競争入札により、青森トヨタ自動車株式会社むつ店と、二千百六十万円で本契約を締結する。

### 【全会一致】

### ○財産の取得について（※高度救命用資機材）

指名競争入札により、株式会社シバタ医理科むつ営業所と、二千三百五十四万四千円で本契約を締結する。

### 【全会一致】

### ○財産の取得について（水槽付消防ポンプ車兼用救助工作車）

指名競争入札により、有限会社青森消防設備と、七千五百六十万円で、本契約を締結する。

### 【全会一致】

### ※高度救命用資機材 救急車に搭載する人工呼吸器やAEDなどの医療機器

## 6月定例会 陳情書の審査結果

### 採択

#### 最低賃金の大幅引き上げと中小零細企業支援の拡充を求める陳情書

【陳情者】 青森県労働組合総連合

【審査結果】 採択

【付託委員会】 総務産業常任委員会

【採択の理由】

最低賃金の大幅な引き上げは、中小零細企業の経営が成り立たなくなるなど影響を及ぼすことが懸念されるが、中小・零細企業等には国が積極的に予算措置等支援策を拡充して、景気の底上げを図り、経営者、労働者ともに国の経済を発展させていくことが必要であるため。

### 資料配布

① 地方自治体における政党機関紙「しんぶん赤旗」の勧誘・配布・販売について自治体独自での実態調査及び是正を求める陳情

② 地方自治体における政党機関紙「しんぶん赤旗」の勧誘・配布・販売について実態調査を要請する決議を求める陳情

【陳情者】 福岡県行橋市議会議員

小坪慎也

【議会運営委員会審査結果】 資料配布

【資料配布の理由】

役場職員がどの政党新聞を購読しようと自由であるが、職場内において党員からの勧誘は問題がある。しかし、当村においては村議員が勧説していることや、陳情の中身にあるような実態はなく、総務産業常任に付託せず、資料配布とする。

## 漁民の森づくり「植樹祭」

7月4日

豊かな海をつくり、緑豊かな美しい佐井村の自然を残すため、毎年実施している「植樹祭」に議員も参加し、漁業関係者の方々と苗木を植樹しました。



## ～お詫びいたします～

佐井村議会では、定例会の本会議（一般質問・追跡質問）を各家庭に設置している告知端末機で音声放送しています。

この度の 6 月定例会の放送では、音声が低く、非常に聞きづらい放送となり、大変ご迷惑をおかけいたしました。

9 月定例会から改善させていただきますので、ご了承願います。



## ～議会を傍聴しませんか～

第3回議会定例会は9月です。

みなさんの議会傍聴をお待ちしています。

定例会の日程や一般質問の質問内容などについては、サイボード及び佐井村ホームページ (<http://www.sai.e-shimokita.jp>) 内の『議会のお知らせ』で配信します。